

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	僕たち私たちの考えること「小さな声を聴いてみよう」Ⅱ					
実施団体名	特定非営利活動法人 すくらむハート					
事業概要	<p>【事業目的】 「絵」を通して、障がいの有無にかかわらず、市民のだれもが相互に人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」について考える機会を創造します。</p> <p>【事業内容】 すくらむハートに来ている子たちと市内の子供たちが、一緒に絵を描き交流します。講師として社会的弱者の方との制作活動を数多く行っている今治出身の画家マヤマックスさんを招聘します。その時感じた障がい者、健常者の感想を報告書として作成します。交流で感じたことを形にすることで、大事なコトを忘れず、他者に伝えます。</p>					
事業の発展性	前年度の反省を生かした事業内容ができ、今後も継続していきたい。障がい者を取り巻く制度や事業が団体間の交流の難しさとなっていると感じられるので、来年度以降は公の障がい者の団体と事業を進めた方がより理解が広がると考えています。					
補助額	市補助額	500,000	総事業額	716,906	補助対象経費	716,906
コ メ ン ト	実施団体	<p><事業を実施しての効果> 障がいのある方と子どもさんらの交流を通じて、みんなが笑える社会を作っていくには「みんな同じ」「一生懸命の姿」「ユーモアを持つこと」「楽しむ心」などのキーワードが見えてきた。初めての試みで方向性が見えていないなか始めたが、これらのキーワードが見えてきたことは、これからの事業に活かしたい。</p> <p><事業を実施しての問題点> いろいろな障がい者の施設・団体に参加を募ってみたが、準備等に思ったより時間を要した。またコロナにて当初の予定を変更して行ったので、準備期間が少なく参加を見合わせる方もおられた。また団体間での参加に要するタスクが違うので、個別の対応が必要であった。</p> <p><問題点に対する解決策> 今年作成したパンフレットを送付し、事業の趣旨を理解いただく。そして日程を早くから決め、各団体と個別に調整していく。</p>				
	市民活動推進委員	<p>(1) 公益性 ・コロナの影響もあるが、参加者が限定的。幅広く参加者が得られるように工夫し、より公益性を高めて欲しい。 ・障がいの有無は関係なく、誰もが参加できる場、自由な表現の場となっている。 ・みなとフェスティバルに合わせたり、各学校へ募集するなど、周知の仕方が考えられており、波及効果があった。</p> <p>(2) 自発性 ・自発性と熱意が感じられる。</p> <p>(3) 費用対効果及び継続性 ・補助金がなければ今後の継続は難しい事業である。支出内容で特に費用がかさんでいる所の見直しや手段を見直すなどして継続に繋げて欲しい。 ・内容的に見て公的な援助の手が欲しい。</p> <p>(4) 団体の評価 ・障がい者団体として信頼性があり、今後の活動の広がり期待が持てる。</p> <p>(5) 事業の効果 ・市民の満足感はあったと思う。 ・作品展示に多くの人に訪れてもらった。来場者がアンケートを記入することで、この事業の効果に繋がると思う。</p>				

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	僕たち私たちの考えること「小さな声を聴いてみよう」Ⅱ	
実施団体名	特定非営利活動法人 すくらむハート	
コメント	市民活動推進委員	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業で作成された作品の今後の活躍の場を考えて欲しい。 ・MAYAMAXXさんに委ねるところが多いと思うが、今後も多くの方が参加する事業へと広がり、交流を深める場口として継続してほしい。 ・絵を描く事で、創造性が豊かになる。もっと多くの一般市民の方が鑑賞できるように広報に力を入れて欲しい。また、作品の展示に関して、開催場所や回数など、今後も工夫して続けて欲しい。 ・1回目、2回目と同じ講師を招聘して事業を行った目的の達成状況がわかりにくい。事業の継続にあたっては、その辺りを整理しながら取り組むことで、よりよい活動になるのではないか。 ・共生社会を目指す活動は、今後需要が見込める分野であり、積極的な活動に期待をしたい。